

(秋津圏域) 第1回 協議体 「地域見守り 支え合い会議」報告書

実施年月日	平成 29 年 12 月 20 日 水曜日 午前(午後)時間 1:15 ~2:45)
会場	総合福祉センター 1階 機能回復訓練室
参加人数	民生委員 (5人) 高齢者相談員 (1人) 町会(1人) 介護事業所 (6人) 医療関係者 (2人) 薬局 (1人) 生協 (1人) 新聞販売所(1人) 警察(1人) 中学校(1人) 社協(1人) 高齢者相談センター(4人) 行政(2人)
ねらい	認知症高齢者が住み慣れた地域で安全に安心して暮らせる地域づくり [きっかけ等]高齢化率が高く、独居高齢者が多い地域である。サロンに通うのに、1人で心配な方がいる。こうした方々を支援していく方策が必要と感ずるため。
会議内容	1.秋津圏域の高齢化の現状を伝え、今後増えてくる認知症高齢者を安全に地域で暮らすことに対しての見守り支援や緊急情報サービスについての流れを知ってもらう (秋津高齢者相談センター 生活支援コーディネーター) 2 習志野市で行っている見守り支援・緊急情報サービスについてグループワーク・発表 A) 緊急情報サービスが発信された時にどのような情報があったらいいか B) 現在皆さんが行っている見守り支援と今後あったらいいと思われる見守り支援 3 会議総括
グループワーク発表	2 抽出意見 A) 行方不明者のアナウンスが他の放送と区別できるような音声があれば良い よく行く場所 活動の範囲・今後の為に見つかった場所・歩き方の特徴などの発信があればいい ⇒日頃の様子を互いに把握し合うことが重要ではないか。地域での関わりを密にしていく必要がある。 B)現在行っている見守りは) 近所の高齢者との交流を持っている 認知症サポーター養成講座を受講している 今後あったらよと思われる見守りは) 声掛けイベントなどの開催 地域で情報交換を行える場所があればいい .
把握できた地域課題	○緊急情報サービスの聞きたい情報は、本人がよく行く場所 歩き方の特徴や言葉の癖などの情報があると良いとの意見も出ていた。より詳細な情報提供を希望されていた。 ○参加者が行っている見守りについては、町内会の集会や配食サービス行事に参加するなどして、高齢者世帯や独居の方との近所の方との関係を築いていると意見がとあった反面、町内会で連絡体制を整える、互助の機能を高める 地域での情報共有が図れる場が欲しいとの声もあがっていた。 ○今後あったらいい見守りについては、高齢者同士の繋がり、自助の意識を高めることもあがっていた。

<p>課題に対する対応策</p>	<p>行方不明になって、緊急情報サービスから、その方を検索することは、関係性が出来ていないと細かな情報を必要とする。行方不明になる前のご近所との関係性を築きながら、地域の高齢者の方を見守っているという意識を高めることが必要との気づきも聞かれ、行方不明になる前の関係性作りについて、今後の話し合いの内容としていく。</p> <p>今後も見守りについて、協議体を開催しながら、関係機関や地域の方を巻き込み、どのような支援ができるのか進めていきたい。</p>
<p>感想等備考欄</p>	<p>地域の見守り支援に対して参加者を新たに銀行・郵便局・警察・小学校・中学校・自治会・新聞販売店などに案内状を送付した。今回新たな五つの関係機関の参加があった。秋津圏域の深刻な高齢化から地域包括ケアシステムを進めていく中で認知症高齢者見守りについて、現状を理解して頂きながら、自分達にどのようなものがあるか、何ができるのか、グループでいろいろな立場の方達から率直な意見が聞け、グループ内でも活発な意見交換がみられていた。</p> <p>今回の協議体では、見守る側からの視点を中心に行ったが、見守られる人となりえる方の視点についても話題を提供していきたいと思った。</p>